



市民がつくる環境都市こまき

こまき環境広報

編集：こまき環境市民会議

環境映画鑑賞会開催の報告

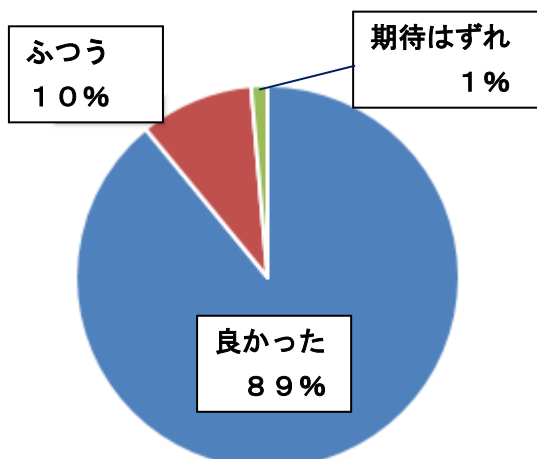
こまき環境市民会議では毎年、環境啓発の一環として「環境映画鑑賞会」を開催しています。今年度は、8月17日にまなび創造館あさひホールで「いのちの林檎」というドキュメンタリーを上映しました。

本タイトルは、近所のゴルフ場の農薬散布が原因で化学物質化敏症を発症した早苗さんのドキュメンタリー。早苗さんは日用品をはじめ身の回りのあらゆるものに拒絶反応を示し、水でさえも摂取できなくなりました。そんな早苗さんを救ったのは、青森県のリンゴ農家・木村秋則さんが長い歳月をかけ栽培に成功した無肥料無農薬のリンゴでした。

当日は104名の方が鑑賞され、「化学物質の怖さを知りました。」「化学物質は極力避け自然由来のものを使用したい。」など、改めて身近な環境に感心を示したようでした。中には、「私自身タバコの煙や排気ガス、草刈機の排気ガスで苦しい思いをしています。映画を観て大変な人々がいることを知りました。」と、実際に辛い思いをされている方もいらっしゃいました。

ごみ問題や大気汚染など、私たちの身近でもさまざまな環境問題が山積みですが、まずは気づき意識すること。みなさんも身の回りのものに目を向け、環境に良いこと始めてみませんか？

映画の感想



来場者が実施しているエコ活動

- ・エコドライブを心がけている
- ・マイバッグ持参
- ・詰め替えを購入・ごみを出さないようにしている
- ・水筒を持ち歩いている
- ・自転車で通勤
- ・ごみの分別をしっかりとって資源回収に協力
- ・コンポストを利用
- ・洗濯を風呂の残り湯を使う など

みなさんもエコ活動を心がけましょう

家でできるごみ減量法

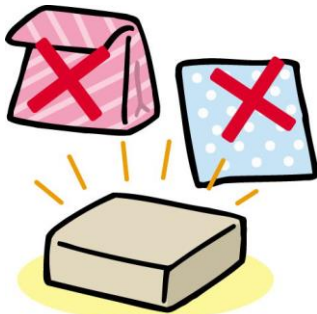
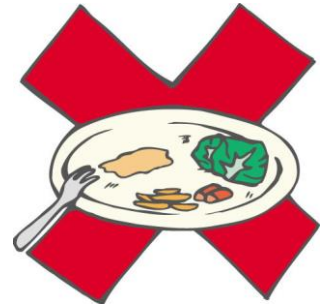
暮らしの中のちょっとした心づかいで、ごみはずいぶん減らすことができます。家庭でも、ごみの減量に意識的に取り組んでみましょう。



買い物には、マイかごやマイバッグを持っていきましょう。

お料理に工夫を。買いすぎに注意し、材料や食用油は、無駄なく使い切りましょう。

また、作った料理を残したり、腐らせないようにしましょう。



過剰包装は、断りましょう。



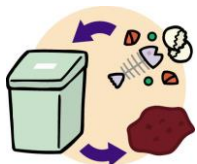
故障した物は、修理して使いましょう。

古紙（新聞紙・雑誌など）は、地域の資源回収に出しましょう。



リターナブルびん（ビールびんや酒びんなどの生きびん）は、販売店に返却したり、地域の資源回収に出しましょう。

古着は、リフォームしたり、譲ったりしましょう。



生ごみは、生ごみコンポスト容器、家庭用生ごみ処理機等を利用し、堆肥にするなど再利用を図りましょう。

他にも・・・

- ・広告のチラシ類は、裏をメモに使うなど有効に利用しましょう。
- ・レンタルやリースを上手に活用しましょう。
- ・衝動買いや買いすぎは、つつしみましょう。